

2010年4月9日(金)～10月22日

熊本日日新聞夕刊掲載広告

2010年度 熊日広告賞 奨励賞 受賞広告



くまもと県民葬祭

広告

【お知らせ】

●お葬式講座開催

4月17日(土)14時
尾ノ上コミュニティセンター

4月18日(日)14時
帯山コミュニティセンター

要予約

詳しくはお気軽にお電話で!

お葬儀費用は値切れない」「最近はお葬儀費用も高額すぎて…」などといった葬儀の費用に係わる事柄を良く耳にします。葬儀を主宰した経験がある方の話では、「気が動転して葬儀社任せになってしまった」「葬儀社の言いなりになったなど」という意見が大半を占めます。葬儀の費用とは、そんなにわかりにくいものなのでしょうか？

葬儀費用を決定するポイントは、形式「規模」「場所」この三項目を大まかに決めれば大体の概算が出せることを覚えておいてください。

まず、「形式」についてですが、これは仏式やキリスト教式、神式などをいいます。日本では仏式のお葬式が多いのでこれを例にお話しますと、例えばお坊さんの人数を何人で行うか、戒名や院号をどうするかなどで費用が変わるのが一般的です。菩提寺をお持ちの場合は、ご住職に、事前の相談をされておけばある程度の費用は把握できますし、菩提寺がない方でも事前に希望などを葬儀社の担当

者などにお伝えいただければ、ご希望に沿ったアドバイスができると思います。

次に「規模」ですが、これは参列される方の人数です。葬儀には祭壇やお棺、お骨重など人数に関係なく必要となる固定的な費用と、お返しや料理などといった人数によって変動する変動費用で構成されています。公式に表しますと、「固定費÷1人当りの単価×人数」葬儀費用の総額となります。規模即ち大まかな参列者人数を捉えることは葬儀費用決定の大きなポイントとなります。

最後に「場所」です。規模とも絡んでいますが、自宅や斎場、お寺や会場などの選択肢から、会場を決めることも費用決定のポイントということはいまでもありません。如何ですか、それだけで葬儀費用が把握できるの？と疑問をお持ちの方にもご理解いただけたことと思います。わかりにくいのは、葬儀社のトリックで、本当は意外と単純なものです。

※次回 は 4月30日(金)掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和



24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

2010年4月16日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●イベントのご案内

5月 7日(金)
日帰りバスツアー

5月12日(水)～13日(木)
お楽しみ一泊ツアー

詳しくはホームページ
またはお電話で!

お葬儀社と同じ、葬儀社に良い悪いもないとお考えの方も少なくないと思います。ところが、葬儀社やそのスタッフは千差万別で、大なり小なり違いがあるものです。では、良い葬儀社とはどのような葬儀社でしょうか。まず、良い葬儀社は次の項目に全て該当することをお考えください。

1. 事前の見積りであっても快く引き受け、細部までの項目および金額が記載されている。

2. 対応がお客様でなく、意見や要望を聞き入れてくれる。

3. 会員組織などへの強引な勧誘をしない。

4. ホームページなどで積極的に情報を公開している。

5. 商品の写真と、商品ごとの価格が明確に示されている。

6. お葬儀を行う際、商品の必要性(必要性)などを詳しく説明してくれる。

7. 場面に応じた適切なアドバイスをしてくれる。

8. 打合せを行う際、総費用が把握できる見積書を画面で交付してくれる。

※次回 は 4月23日(金)掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和



24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日記信のメルマガ(無料)でもご覧いただけます。

ホームページ

くまもと県民葬祭

検索

www.0077-78-1059.com

2010年4月23日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●会場見学会開催

5月1日(土)10時～16時
ファミリースペース東京塚

事前相談や事前見積りも行います。
詳しくはホームページ
またはお電話で!

葬儀費用は値切れない」「最近はお葬儀費用も高額すぎて…」などといった葬儀の費用に係わる事柄を良く耳にします。葬儀を主宰した経験がある方の話では、「気が動転して葬儀社任せになってしまった」「葬儀社の言いなりになったなど」という意見が大半を占めます。葬儀の費用とは、そんなにわかりにくいものなのでしょうか？

葬儀費用を決定するポイントは、形式「規模」「場所」この三項目を大まかに決めれば大体の概算が出せることを覚えておいてください。

まず、「形式」についてですが、これは仏式やキリスト教式、神式などをいいます。日本では仏式のお葬式が多いのでこれを例にお話しますと、例えばお坊さんの人数を何人で行うか、戒名や院号をどうするかなどで費用が変わるのが一般的です。菩提寺をお持ちの場合は、ご住職に、事前の相談をされておけばある程度の費用は把握できますし、菩提寺がない方でも事前に希望などを葬儀社の担当

者などにお伝えいただければ、ご希望に沿ったアドバイスができると思います。

次に「規模」ですが、これは参列される方の人数です。葬儀には祭壇やお棺、お骨重など人数に関係なく必要となる固定的な費用と、お返しや料理などといった人数によって変動する変動費用で構成されています。公式に表しますと、「固定費÷1人当りの単価×人数」葬儀費用の総額となります。規模即ち大まかな参列者人数を捉えることは葬儀費用決定の大きなポイントとなります。

最後に「場所」です。規模とも絡んでいますが、自宅や斎場、お寺や会場などの選択肢から、会場を決めることも費用決定のポイントということはいまでもありません。如何ですか、それだけで葬儀費用が把握できるの？と疑問をお持ちの方にもご理解いただけたことと思います。わかりにくいのは、葬儀社のトリックで、本当は意外と単純なものです。

※次回 は 4月30日(金)掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和



24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

2010年4月30日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●会場見学会明日開催

5月1日(土)10時～16時
ファミリースペース東京塚

事前相談や事前見積りも行います。
詳しくはホームページ
またはお電話で!

人間には「見栄を張る」という虚栄心や「恥をかきたくない」という羞恥心が少なからずあるものです。日常では抑えていても、冠婚葬祭の時となると異常にあらわになる方が少なくありません。しかし、自分がその様な傾向であると思い当たるあなた、注意しながら読んで下さいね。

葬儀社によっては、お葬式の担当者が歩合制の給料体系で、全体の売上や個別の商品の売上で給料が決まるところがあります。

当然、売上を伸ばし個別の商品を数多く販売すれば給料は上がります。給料をあげたいがための手段として虚栄心や羞恥心を逆手に取った営業トークを繰り広げることもし少なくありません。

例えば「一般的には皆さんはコチラの商品を選ばれますよと、グレードの高い商品を勧められると羞恥心から断りづらいものです。

また「〇〇さんはこれまで皆

様のために頑張ってくださいましたので、この程度はなさらないと」と言われれば虚栄心が出てくるものです。

葬儀社のスタッフのアドバイスは、時に「お客様のためではなく「自分のため」に行われることも少なくないものです。

それでは如何にすればこれに対処できるのでしょうか。それはお葬式の形式などについて自分の考えを持ち、しっかりとしたイメージを描くこと以外ないと思います。考えが曖昧だと人の意見に流され、羞恥心や虚栄心が出てきて邪魔をしてしまいます。

葬儀社のスタッフの巧みなトークにはくれぐれもご注意ください。

最後に一つ、虚栄心や羞恥心から葬儀費用が高額になってしまった時は、身から出たさび、文句を言わずに支払を済ませ、次に同じことを繰り返さないことが大切です。

※次回 は 5月7日(金)掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和



24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

遠話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

0077-78-1059

ファミリースペース東京塚

2

【お知らせ】
●メールマガジン(無料) 配信中
お葬式のマナーや最新の葬儀事情など、皆様に役立つ情報を毎週火曜日に配信中です。
ご登録は当社ウェブサイトから。
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

突然やってくる死、良い葬儀社悪い葬儀社、葬儀費用決定のポイント、邪魔をする虚栄心と羞恥心というタイトルの4回に渡ってお伝えしてきた「お葬式入門」で、何れの項目にも共通するの「事前に考えることの大切さ」という点です。

お葬式のことを事前に考えるなんて縁起でもない、と思う方もいらっしゃるのではないでしょうか。しかし、縁起を担ぎすぎて万が一のときに、いきあたりばったりで選んだ葬儀社の言いなりになって、お葬式が終わった後に後悔と高額な請求書だけが残ったという話は少なくないですよ。

何事も備えあれば憂いなし、転ばぬ先の杖です。万が一のときのことを考えることは縁起が悪いことではなく、正しい死生観、引いては人生観を描くことです。これまでお葬式で失敗や後悔した方の大部分が「事前の準備」を怠ってしまっていたことに要因があります。いつ起るか分からないから事前にある程度調査し、考えをまとめておくことは大切なことなのです。

事前に考えると悪い葬儀社のおぼり出しも可能だし、概算費用の把握、葬儀スタイルなどの決定も可能で、失敗や後悔をする確立は大幅に低下するものです。

今回のお葬式入門では、自分が送る立場に立ってお葬儀を主宰することを前提に、お話をすすめてまいりました。送られる方が現役であるか送る自分が現役であるかなど、状況によってお葬式のスタイルも変わってくると思います。

人間は生ある以上死は避け難いものです。もしものとき、慌てないためにも事前に準備されることをお勧めします。

※次回5月14日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

つどう、暮らし、心がかよう お葬式(灰塚/火葬前)
ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO HILLS
〒062-0323 熊本市東区東19-47 TEL.096-386-1059 FAX096-288-9648

【お知らせ】
●会場見学会開催
6月5日(土)10時～16時
ファミリースペース東京塚
事前相談や事前見積りも行います。
詳しくはホームページ
またはお電話で!

今回のシリーズは、お葬儀に関する事前準備のポイントをまとめてみました。自分自身のこと、せよ家族のこと、せよ、お葬儀の事前準備ってわかり辛い誰に聞いて良いのかわからないという方も少なくないことと思います。死を後ろ向きではなく、健全に且つ前向きに考えるあなたの参考になれば幸いです。

事前準備を行ううえでまず大切なのは、死が避けられるものではないという点を自覚することです。自分や身近な家族の死というものは考えたくないものであり、出来ればないに越したことは無いとお考えになるのが一般的だと思います。ただ、理解していただきたい事は、この世に生を受け今こうして生きているという事は、死がいつかは必ず訪れるということ。避けられないものであるということです。ただ、だからと言って深刻に考える必要はないと思います。問題なのは、もしものことを全く考えていない

第6回「事前準備のポイント」シリーズ① 死は避けられない

ということです。「もしも入院したとき」「もしも死亡したとき」万が一に備え、生命保険などに入りになっている方は少なくないと思います。自分にもそのことがあっても家族に金銭面での負担をかけないようにと考えている傍ら、お葬式のこととは「家族が考えること」では無責任すぎるのではないのでしょうか。また、両親などご家族の方を送られるケースも同様です。高齢であるとか医師から余命宣告を受けるなどして死が間近に迫った状態では、お葬式のことを考えることが不可能になるかもしれません。事前に考えることなくいざとなつてから慌てて考えても、後悔やトラブルの原因になりがちです。また、心配ばかりが先行し不安を抱えたままでは、看護に専念できないという弊害も出るかもしれません。死が避け難いものであることを認識し、気持ちよく心を整理することから始めれば準備を上手く進められると思いますよ。

※次回5月21日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

つどう、暮らし、心がかよう お葬式(灰塚/火葬前)
ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO HILLS
〒062-0323 熊本市東区東19-47 TEL.096-386-1059 FAX096-288-9648

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日に配信のメルマガ(無料)でもご覧いただけます。

【お知らせ】
●会場見学会開催
6月5日(土)10時～16時
ファミリースペース東京塚
事前相談や事前見積りも行います。
詳しくはホームページ
またはお電話で!

今回は「深刻に考えず意思を明確に」というテーマでお届けします。皆さんもご存知のように「深刻」と「真剣」では言葉の意味が全く違いますね。今回の事前準備のポイントはこの「深刻」に考えないと言ったことです。

先週お届けしました通り、死というものは生ある以上避けることはできません。必ず訪れることです。だからと言って深刻に考える必要はないということ。ただ、言い換えると、死について真剣に考えることは大切だと言いう事になると思います。極端なケースですが、皆さんが医師から余命3ヶ月と宣告を受けたら、愛する家族の余命宣告を受けたらどうするか、当然死を真剣に考えなければいけないはず。自分が死んだ後はどうするか、残されたものは…と考えると同時に、自分自身、残された3ヶ月を悔いなく生きるためにはどうすれば良いのか、と考えるはず。死を真剣に考えると言いうことは、如何にして生かされている間を生きるかを考えることでもあります。生と死は表裏一体と言いますが、まさにその通りなのです。

では、医師から余命宣告などを受けていないあなたにとって死はいつ訪れますか?これは誰にもわからないことです。わからないことだから真剣に考えなくて良いのですか?そうではありませんよ。先程言いました生と死は表裏一体、死を考えることは生を考えることです。充実した生を送るためには死を見据えることが前提条件なのです。

深刻に考えると逆にそれが重荷になって、豊かな生を送ることも難しいと思います。今日は交通事故にあつて死ぬかもしれないから外出は控えようでは、本末転倒です。死のことをある程度真剣に考え充実した生を送りたいと望む皆さん。事前準備なさる際にくれぐれも深刻にならないように注意してくださいね。

※次回5月28日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

つどう、暮らし、心がかよう お葬式(灰塚/火葬前)
ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO HILLS
〒062-0323 熊本市東区東19-47 TEL.096-386-1059 FAX096-288-9648

【お知らせ】
事前相談受付中
無料
資料のご請求、事前見積り、事前相談をご希望の方は、お気軽にお電話ください。
通話無料 0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索

ご自身のお葬儀に関し何らかの希望がある方で、「遺言書と一緒に書いておけば良いとお考えの方はいらっしゃるかもしれませんが、遺言書には、自筆証書遺言、公正証書遺言、秘密証書遺言の3つの種類があります。それぞれに特徴がありますが、自筆証書遺言が公正証書遺言が一般的です。しかし、問題は自筆証書遺言の場合です。自筆証書遺言にお葬儀に関する希望などを書いていても反映することが時間的に困難なケースが殆どだということです。自筆証書遺言は、最も簡単な遺言の方法で、証人が不要であったり、費用もかけずに作成することが可能です。しかしこの方式は、裁判所で検認手続きを受けなければ開封する事ができません。検認には相続人全て代理人でも可が必要な書類を揃え、出頭して初めて可能となります。お通夜やお葬儀は、通常亡くなった2～3日で済ませるのが普通ですが、自筆証書遺言だと遺言の執行には相当日数が必要になるため間に合

第8回「事前準備のポイント」シリーズ③ 遺言書では間に合わない

わないのです。解決する方法としては、遺言書以外に「お葬儀のための遺言書」をご準備いただくことをお勧めしています。正式な遺言と違い法的な拘束力などはありませんが、ご希望を書いて誰にでもわかる場所に置いておくか、置いてある場所を予め伝えておけばご自身の意思が最大限反映できると思います。また、家族や親しい方だけのお葬儀を希望なさる場合等は、そのご希望が文書化されているだけで残された家族も安心なはず。ご親族の中には世間体などを気にする方もいらっしゃると思います。その方にとっては家族や親しい方のお葬儀が不満かもしれない。そんな時、本人の意思を表すものがあればそんな方にもご納得いただけるはず。お葬儀は、送られる側、送る側ともに意思や考えがあるものです。送られる側の希望がある場合などは特に、遺言書ではなく別に文書として残しておかれることをお勧めします。

※次回6月4日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

つどう、暮らし、心がかよう お葬式(灰塚/火葬前)
ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO HILLS
〒062-0323 熊本市東区東19-47 TEL.096-386-1059 FAX096-288-9648

広告

【お知らせ】

●会場見学会明日開催

7月3日(土)10時～16時

ファミリースペース東京塚

事前相談や事前見積りも行います。

詳しくはホームページまたはお電話で!

先週は葬儀費用の構成が、固定費と変動費に分かれていたことを説明しましたが、今週は総葬儀費用のお話です。お葬式に係る支出は一般的に、葬儀基本費用とお返しや料理の費用、それにお布施など宗教者へのお礼、更には香典返し、仏壇や仏具、お墓等の費用があります。その他にも初七日や忌明けなどの料理の費用、その際のお布施、その後も初盆や一周忌など、およそ1年の間に相当な金額が財布から出ていきます。皆さんにもご理解いただけたと思いますが、通夜から葬儀の際に、葬儀社に支払う費用が葬儀の総費用ではなく、葬儀社以外にも多額の出費が必要だということことです。葬儀社への支払い以降も次から次へと出費がかかります。仏壇やお墓等は先祖代々のものがあるから改めて必要ない方もいらっしゃると思いますが、実家を離れられている方などにとっては数百万単位の出費も考えなければいけません。人間が一人

第13回「葬儀費用」シリーズ③

総葬儀費用

亡くなるということとは、それだけ大変だし、お金もかかるということ。その様なことから最近では様々な考えをお持ちの方が増えてきています。象徴的なのが自然葬志向です。通常は亡くなった後は遺体を火葬し、遺骨はお墓や納骨堂などに納めていますが、最近では土に返したり、海に返したりする自然葬を希望なさる方が増えてきました。少子化や核家族化の影響で、お墓を守っていけないなどの理由も背景にあるようです。話がちょっと横道にそれましたが、何れにしても人の死に関連する総葬儀費用は、相当な負担が必要となります。通夜から葬儀の2、3日間のことだけではなく、その後やご自身の於かれている環境なども考慮して総葬儀費用というものを考えてみては如何ですか。お葬儀も行き当たりばったりで無計画だと、後で後悔することになるかもしれません。

※次回は7月9日(金)掲載

くまもと県民葬祭 代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

つどう、語らう、心がかよう お葬式(灰塚/以停前)

〒862-0623 熊本県東市街19-47 TEL:096-386-1059 FAX:096-289-9948 www.0077-78-1059.com

2010年7月9日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●悠々倶楽部

秋のバスツアー

予約受付中!

詳しくは当社ウェブサイトまたはお電話で。

くまもと県民葬祭 検索

www.0077-78-1059.com

物を買ったり、サービスの提供を受けるときに大切なことは満足度で評価すること。とだと思いませんか。安いものを買っても使わなかったり、使い勝手が悪ければ満足度が満たされることはありません。購入する商品や受けるサービスの金額が高ければ高いほど、満足度というハードルの高さも高くなるのが一般的なものです。今のお葬儀の費用は平均で231万円、中級の新車を買うのとはほぼ同じ金額です。しかしお葬式というのは、車など違い形として残るものは一部でしかなく、大部分がサービスを受ける対価です。車であれば選択肢の幅が広く事前の見積りや複数の見積をもらうことにも抵抗は感じません。お葬式の場合はいくらまで事前に見積を取ることもや準備することがタブー視され、棺などにしても「10万円です」と言われても、その正当性を判断する基準を皆さんが持ち合わせていませんでした。満足度の基準は人によって異なるものです。例え

第14回「葬儀費用」シリーズ④

満足度評価

ば値段が安いことに満足を感じる方や、値段は多少高くともそれ以上のことに満足を得る方などまちまちです。長くて安いのがベストなのでしょうが、お葬式というのは単に買い物をするのではなく、身近な方の人生終焉の大切な儀式であり、送る方にとっても「想い」というものが重要視されるものです。ご家族様と葬祭業者との接し方や、葬祭業者のサービスや心配りなどが消費者の満足度を大きく左右することは間違いないと思います。サービスの中身が不透明で、その質が金額と見合わないことからトラブルや後悔が後を絶ちません。満足度というより不満度がより低いというレベルで消費者の皆さんが判断していたと言っても過言ではないのがこれまでの業界です。これからは不満度ではなく、真の意味で満足度を高めていく努力が業界にも必要でしょうし、消費者の方の満足度が少しでも向上するように努力したいと思っています。

※次回は7月16日(金)掲載

くまもと県民葬祭 代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

つどう、語らう、心がかよう お葬式(灰塚/以停前)

〒862-0623 熊本県東市街19-47 TEL:096-386-1059 FAX:096-289-9948 www.0077-78-1059.com

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日配信のメルマガ(無料)でもご覧いただけます。

ホームページ
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

2010年7月16日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●メールマガジン(無料)配信中

お葬式のマナーや最新の葬儀事情など、皆様に役立つ情報を毎週火曜日に配信中です。

ご登録は当社ウェブサイトから。

くまもと県民葬祭 検索

www.0077-78-1059.com

最近お問い合わせが増えてきているのが「お葬式にお金をかけられない(かけたくな)い」のですが、何円(いくら)かかりますか?というものがあります。これは一見、普通の会話に聞こえますが、葬祭業界特有の言葉であるように思えます。デパートに行ってもスーパーに行っても、商品ごとに値札が表示されていて、値切る方もいらっしゃると思いますが、判断となる金額が示されています。葬祭業界ではこれまで金額の表示がなく、判断する材料がなかったから消費者は戸惑い、漠然と「何円かかりますか?という質問になってしまっていたのだと思います。しかし考えてみてください。もともと判断する基準がないところで「何円かかりますか?はい〇〇万円です」「じゃあ宜しくお願ひします」ということがありますが、買い物をするにも何にしても、たいていの方は家計の予算の範囲というものを考えて購入したり、商品を選ん

第15回「葬儀費用」シリーズ⑤

何円かかるかではなく、何円かけるか

だりするものです。つまり、価格の判断は購入する側が主導権を持っていて当たり前。状況で「何円かかりますか?はい何円です。じゃあ宜しく」はそもそもおかしいのです。では、お葬式を行うにあたって肝心なことは何であるかと言え「何円かけるか」が大切だということ。殆どの葬祭業者がポランディアでやっているところはあります。常設的に考えて低すぎる金額ではお受けしかねます。しかし、常識の範囲内であれば、お客様の要望に応えることは充分可能なことです。人を多く抱え、多くの斎場を持って運営しているところと、小規模でやっているところとでは、常識の範囲の幅も若干異なってくると思います。ただ、皆様はどうしたいか、何円かけるかという明確な意思を持つことこそトラブルを未然に回避する手段であり、後悔しないための手段であるのです。

※次回は7月23日(金)掲載

くまもと県民葬祭 代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

つどう、語らう、心がかよう お葬式(灰塚/以停前)

〒862-0623 熊本県東市街19-47 TEL:096-386-1059 FAX:096-289-9948 www.0077-78-1059.com

2010年7月23日 熊日夕刊掲載コラム

広告

【お知らせ】

●会場見学会明日開催

8月7日(土)10時～16時

ファミリースペース東京塚

事前相談や事前見積りも行います。

詳しくはホームページまたはお電話で!

生と死は表裏一体であり、生きているから死があり、死があつてこそ生があるとも言われます。生きている以上死は避けられず、いつかは必ず訪れるものです。しかし、殆どの方が生きている日常で、実際に死ぬことを考えてはいません。なぜなら、いつくるかわからないからではないでしょうか。この世に生きている方で、生命の危機を体験された方はいらしても、実際に死を経験された方はいないはず。また、いつまでも永遠に生き続けられると信じている方もいないはず。その様に考えていくと「死は当たり前であり、生きている「生」が偶然なのかもしれないのに、多くの方にとって死が信じられないことであり、生きていて当たり前のようになっていないでしようか。最期を考える上で大切なことは、いつかは必ずくるといふ事をしっかりと

第16回「最期を考える」シリーズ①

死とは

と覚悟することが大切だという点です。覚悟することによって、充実した「生」を送ることができ、悔いのない生涯を送ることも可能となるでしょう。お葬式にしても後悔するといったことは無くなると思えます。逆に死を覚悟せず、日々を過ごしていると充実感も無く、最後の最後まで後悔することになる可能性があります。死は生ある限り間違いなく平等に訪れます。ただその時期や順序などは誰にもわからないことです。だからこそ死をしっかりと見据え、偶然生き続けていることに心から感謝することが大切ではないでしようか。生きていくのに縁起でもないではなく、死を考えることこそ送る側、送られる側の両者にとって幸せなことだと日常の中からつくづく感じます。

※次回は7月30日(金)掲載

くまもと県民葬祭 代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます(土日可)

通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索

ファミリースペース東京塚

つどう、語らう、心がかよう お葬式(灰塚/以停前)

〒862-0623 熊本県東市街19-47 TEL:096-386-1059 FAX:096-289-9948 www.0077-78-1059.com

ホームページ
0077-78-1059

5

【お知らせ】
●ファミリースペース東京塚
一周年記念イベント開催
とき:8月7日(土)10~16時
詳細はお電話または
当社ウェブサイトから。
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

お葬式の現場にいますと、よく見え隠れするのが「虚栄心と羞恥心」。わかりやすく言えば「見栄や世間体」です。例えば、故人は生前に「自分が死んだら派手なお葬式はいらない、家族だけで送ってくれば良い」と言っていたとしても、いざ亡くなると残された家族の間で葛藤がはじまるのです。「あんな風に言っていたけど、親戚や近所の手前...」この前参列したお葬式は立派な祭壇が飾られていて、大勢の方がこられていたし...。そう、これがまさに虚栄心や羞恥心です。しかし、よく考えてみてください。この虚栄心や羞恥心というのは誰が感じるものなのでしょう。か。そう、亡くなった方ではなく、残された家族の方なのです。では、お葬式とは誰のために、何のために行うのでしょうか。この点を充分に考える必要があります。例えば、誰というのは全ての場合において「亡くなった方」に他ならないと思えます。ただ何のためにという目的は個々のケースで異なってくる。

第17回「最期を考える」シリーズ② **お葬式も目的を明確に**

まず。例えば「亡くなった方と家族や縁のあった方が最期の別れをするために」という目的と、「残された家族が恥をかかない程度のお葬式がしたい」では、お葬式の進め方がまったく変わってきます。お葬式に限らず、何かを行う時に目的を明確にするということは当たり前のことであり、目的が明確でない場合は成功などありえません。お葬式の場合も、この目的さえ明確にできれば失敗などないのです。人間である以上、虚栄心や羞恥心は少なからず持っているものです。しかし、中途半端な虚栄心や羞恥心だけで進めてしまえば、必ずお葬式で後悔してしまふもの。恥をかきたくないとすれば、それを目的にすれば良いのです。恥をかきたくないということが目的であれば、羞恥心を超え満足感が得られることでしょう。目的を明確にするには、中途半端な虚栄心や羞恥心であれば捨ててしまふこと、この2点が今週のアドバイスです。

※次回は8月6日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 **0077-78-1059** くまもと県民葬祭 検索
〒862-0923 熊本県東区塚19-47 TEL.096-386-1059 FAX.096-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

【お知らせ】
●一周年記念イベント
明日開催!
おとぎ料理試食会
お葬式セミナーなど
詳しくは当社ウェブサイトから。
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

最近の新聞でも「自分らしい最期を迎えたい」と希望されている方の記事が増えてきたように感じます。終末期の医療方針や介護のあり方、お葬式についてなど、自分の考えや希望をしっかりと持ちこたえるようになってきた現われかもしれません。では、お葬式についてどこまで「自分らしく」というものが許されるのでしょうか。まず、人が亡くなると法律で定められている項目は、戸籍法で定める届出の義務と、墓地埋葬に関する法律で定める死後24時間以内の火葬埋葬の禁止、焼骨(遺骨)の埋蔵は墓地以外の場所に行ってはならないという3項目です。お通夜や告別式をしなければならぬという項目や、形式や場所などについては法的拘束事項ではなく、あくまで社会通念や慣習の部分になります。言い換えれば「自分らしく」が許される範囲は、まず社会通念や慣習の部分に限られるという点を理解いただかなければなりません。

第18回「最期を考える」シリーズ③ **自分らしさとは**

ん。ここで一つ、遺骨の埋蔵の問題が法律で定められています。最近では海や山などに遺骨を撒く散骨を希望される方が増えていますが、この問題はどう解釈すれば良いのでしょうか。現在の解釈では、埋蔵が「穴を掘って骨を埋める」という前提で考えています。今行っている散骨の多くは、海や山の表面に遺骨を置きパウダー状にして「撒く」というもので、違法ではないという解釈で行われています。従って散骨を希望される場合は、実施する事業者の正しい選択と、一定のガイドラインに添って行うことが重要といえます。自分らしくという希望は、今後益々増えてくるものと思います。自分らしさを、お葬式に反映すること、これは大切なことであり、望ましいことです。しかし、その時も法的部分の厳守はもとより、ガイドラインや社会通念、慣習といったものも大幅に逸脱しないことが必要です。

※次回は8月13日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 **0077-78-1059** くまもと県民葬祭 検索
〒862-0923 熊本県東区塚19-47 TEL.096-386-1059 FAX.096-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日記信のメルマガ(無料)でもご覧いただけます。

【お知らせ】
事前相談 受付中
無料
資料のご請求、事前見直し、事前相談をご希望の方は、お気軽にお電話ください。
通話無料
0077-78-1059
くまもと県民葬祭 検索



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

お葬式は、人生終焉の大切な儀式であり、失敗した後悔したからといって、やり直すことは絶対にできないものです。そこで今回はお葬式を考えるタイミングについて考えてみます。最期を考える上で一番大切なことは、まず「その時では遅い」ということです。お葬式というものは通常、お亡くなりになって2、3日の間には終わらせてしまうことが殆どです。また、何度も経験することではないだけに知らないことも多く、ついつい葬儀社主導になりがちなもの。通常の方は、時間的な制約と不慣れにより考えていたようなお別れができなかったと、全てが終わったあとに後悔される方も多いものです。では、送る側の考えや送られる側の考えがあるときに、どうすれば後悔なく思い通りのお葬式をすることができのでしょうか。答えは、事前に考えるという解決策しか見当たらないということです。身

第19回「最期を考える」シリーズ④ **その時では遅い**

近な方がお亡くなりになるということとは、時間的制約、不慣れなどに加え、何より精神的落胆が大きいものです。また、終末期の看護疲れなどで、肉体的にも限界状態になり、正しい判断すらできないことも多いものです。言い換えれば、事前の準備もなくその様な状態で、何の後悔もなく終えることができたとしても、奇跡に近い出来事だといっても過言ではないと思います。最期を考える上で最も大切なことは、事前にある程度の準備をするということ。生きているのに縁起でもないではなく、悔いなく送り、悔いなく送られるために、その時では遅いということを認識しておいてください。またどの時点で考えるのが現実的かといえば、あまり差し迫ってからは逆に考え辛いという方が多いようです。元気な今から最期を考えるのがベストではないでしょうか。

※次回は8月20日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 **0077-78-1059** くまもと県民葬祭 検索
〒862-0923 熊本県東区塚19-47 TEL.096-386-1059 FAX.096-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

【お知らせ】
●会場見学会開催
9月4日(土)10時~16時
おとぎ料理試食
お葬式講座など
詳しくは当社ウェブサイトから。
くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

たいていの送られる側の方は、子や孫に負担を掛けたくなく、家族だけで質素に送ってもらえればよいと考える方が多いのに対し、送る側とすれば、これまでの感謝の気持ちを込めて精一杯のことをしてあげたい、と思っておられる方が多いと思います。このことが、まさに送る側、送られる側のギャップです。お葬式というものは送られる側の方にとって、主役ではあるのではありませんが、内容が最終決定したり希望を押し通したりすることはできないものです。当たり前のことですが、送る側に託す方法があっても、自分で全てを実行することは不可能なのです。では、送られる側が送る側に託す際の留意点はどのようなものでしょうか。

まず、大切なのは、自分の気持だけを無理強いせず、相手の気持や状況も考えることです。例えば亡くなった後は家族だけで送って欲しいと希望しても、ご自身が会社を経営され従業員からも慕われてい

第20回「最期を考える」シリーズ⑤ **自分の思い、家族の思い**

るとしたらどうでしょうか。当然、その従業員の方も一緒に別れをしないと願うはず。家族でないからという理由で知らせなかった場合、残された家族が恨まれてしまう可能性だってないとは言えません。状況は様々だとしても、常識の範囲を逸脱するようなものとは避けるべきだと思います。送る側の方は送られる側の意見を最大限尊重することはできることながら周囲の意見などに流されないようにしなければならぬというのが大切です。お金は出さずに口だけ出す厄介な親戚の方もいらっしゃるかもしれません。要はご自身の意思を明確にし、送られる側の希望を優先するのであれば、周囲を説得してでも遂行することが成功の秘訣だと思います。お葬式に限らず「相手を思う」ということは、生きていくうえでも死に往くときでも、基本ということでしょうか。

※次回は8月27日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 **0077-78-1059** くまもと県民葬祭 検索
〒862-0923 熊本県東区塚19-47 TEL.096-386-1059 FAX.096-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

※次回9月10日(金)掲載

第21回「お葬式は、要る」シリーズ①

文化の継承

宗教学者である島田教授の「お葬式は、要る」という本が、多くの方に読まれているようです。内容的に共鳴できる部分も多くありますが「要らない」と切捨ててしまっ

ては様々な問題が発生すると思います。お葬式というのは日本に限らず、世界各地で執り行われる文化的行事です。残された者にとっても社会にとってもけじめであるお葬式は、様々な形で営まれてきました。葬送や埋葬については太古の昔から世の中の移り変わりに応じて形を変えながら現在に至ってきました。本にもあるように、現在の日本における葬儀費用は世界と比べ突出して高額なのは事実で、 unnecessary部分や改善すべき点はあるでしょう。しかし、無駄が多いから或いは高額だからという理由で止めてしまっ

ては、故人を用いる葬という文化が途絶えてしまう気がします。私たちは、色々な方の人生終焉の儀式のお手伝いをさせていただいています。その中

で、時の流れとともに変化するべきものと変えてはいけないものがあることに気付きます。最近では直葬「ちよくそう」、じきそうといっ、お通夜や告別式などの宗教儀式を行わず、24時間経過後火葬だけを行う葬送スタイルをご希望なさる方が増えてきました。この直葬の例で話をしますと、面倒だから、費用が抑制できるからなど単純な理由で希望されるとすれば現代の葬送文化とはいき切れないと思いま

す。しかし、元々宗教心が薄く宗教儀式の部分は必要ないけれど、火葬までの最低24時間は故人を用い、近親者で静かに別れがたいという理由であれば、現代の葬送文化といえるのかもしれない。残された者が亡くなった方を用いる葬文化は継承しなければならぬと思います。お葬式が果たす役割は、文化の継承という意味でも大きいのではないのでしょうか。

※次回9月10日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
つどう、願らう、心がより お葬式 (灰塚バス停前)

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

※次回9月17日(金)掲載

第22回「お葬式は、要る」シリーズ②

命の教育

まずは今から40、50年前のことを思い出してください。人の誕生は自宅で産婆さんの手によって行われ、人の死も自宅で往診の医師によって判定されることが一般的で、今のように生も死も病院が主体ではありませんでした。人が誕生するときは家族が別室で控え、赤ん坊の産声を聞いてともに誕生を喜び、人の死は家族が見守る中息をひきとることで悲しみを感じたもので

す。現在では、人の誕生も人の死もその大半が病院で起る出来事になってしまいました。病院が舞台になることにより新生児が死亡する確率も減り、人の寿命も延びたという長所がある反面、家庭から離れた場所で人が誕生し、人が亡くなっていくということが見守る家族を遠ざけてしまったという短所を生み出した気がします。即ち、人の誕生や死という瞬間に皆が立ち会うことで気付く「命の大切さ」や「尊厳」等を感じる機会が奪われてしまったような気がし

ます。赤ん坊が産声を上げると、近くにいた幼い子供も妹や弟の誕生に歓喜を上げました。医師の「ご臨終です」という言葉には大人が嘆き悲しんでいる様子をみながら幼い子供も悲しみを共有したので

す。人の誕生や人の死が身近で起ることに命の教育が自然になされていたのです。この仕事に携わっていると、現代における唯一の命の教育の場は、通夜であり告別式の時間だと感じます。幼い子供も悲しみの中で「一度死んだら生き返ることはない」だから自分や他人を大切にしなければならぬと感じる大切な時間であるような気がします。お葬式がなくなると、そんな大切な時間が奪われ、命の教育を体感できる場がなくなると思いませんか。今以上に社会が疲弊し、荒んでしまっ

とは思いませんか。そんな社会にしないためにもお葬式は必要なのではないでしょうか。

※次回9月17日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
つどう、願らう、心がより お葬式 (灰塚バス停前)

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日配信のメルマガ(無料)でもご覧いただけます。

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

※次回9月24日(金)掲載

第23回「お葬式は、要る」シリーズ③

家族のけじめ

お葬式はそのギャップを埋めるための環境と、時間の提供という役割を果たすとされま

す。故人様との最期の別れを、通夜の席を通じ縁のあった方々と想い出話をするこ

によってけじめを付ける方、涙することによってけじめを付けらる方、周囲に励まされ支えられ

てけじめを付ける方など、けじめの付け方はその方によっ

て違いますが、しっかりとけじめを付けることは次のス

テップへ進む上で最も大切なことなのです。私も全てのお葬式を肯定している訳ではあり

ません。セレモニー的で見栄の固まりのようなお葬式は

要らないどころか間違っていると思

います。ただ、家族がけじめを付けるためのお葬式は

絶対必要であり、それがなければ家族のけじめが付かず悲

しみが癒される場が無くなっ

てしまいます。家族に限らず、

社会や縁のあった方々がけ

じめを付ける場を確保するためにも、お葬式は必要なのでは

ないでしょうか。

※次回9月24日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
つどう、願らう、心がより お葬式 (灰塚バス停前)

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前



くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

※次回10月1日(金)掲載

第24回「お葬式は、要る」シリーズ④

心の癒し

お葬式というのは、臨終からお通夜、葬儀、告別式、火葬、喪という一連の流れで構成されています。これは一般的に葬送儀礼と言われ、葬儀という言葉もこの葬送儀礼の略語とされます。喪というのはその期間中は喪中と言われ、期間は1年程度というのが一般的です。お葬式という

と、単にセレモニー的な部分だけを切り上げて議論する傾向が強いように感じますが、実はセレモニー部分はほんの一部であって、1年にわたる喪の期間こそが大切な時間で、その期間が遺族の心の癒しの時間なのです。人は死別などで大切な方を亡くすると強い悲嘆「GRIEF」を感じ、時間をかけて故人のいない環境に適応しながら悲しみを少しずつ癒していきます。これはグリーフワークと言われ、ショック期や喪失期、再生期などを経ながら故人の死を乗り越え新たな自分を形成していくプロセスです。葬送儀礼も一連のプロセスを通じて遺

族の悲しみや苦しみを癒すという点で共通しています。お葬式が無くなると遺族の心の癒しをどこに持っていけばよいのでしょうか。セレモニー的ではないにせよ、全く無く遺族の心が癒されるのでしょうか。「お葬式は、要らない」の本を書かれた島田先生も恐らくグリーフワークの大切さは充分理解されていると思います。今のセレモニーのあり方がむしろグリーフワーク上悪影響を与えることを指摘されているのかもしれない。であれば、私たち葬祭業に携わる者がお葬式の意義や必要性などを消費者にしっかりと説明し、お通夜や告別式のあり方についても、その方に相応しいものを提案していかねばいけないのではないのでしょうか。「お葬式は、要らない」というのは、華美でドラマ仕立てのようなセレモニーが要らないのであって、お葬式自体が不要ということ

は絶対にはないと思います。

※次回10月1日(金)掲載

24時間365日いつでも受付できます(土日可)
通話料無料 0077-78-1059

くまもと県民葬祭 検索
www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
つどう、願らう、心がより お葬式 (灰塚バス停前)

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前

第25回「お葬式は、要る」シリーズ⑤ **事業者も戒めるべき**

そもそも何で「お葬式は、要らない」などの議論になってしまっているのか。今回のシリーズでもお届けしてきたとおり、お葬式の役割は家族のけじめであったり、命の教育の場であったり、心の癒しの場であったりと多岐に及んでいます。お葬式が「要らない」という表現には出版社の思惑もあったのでしょうか、そこに至った原因は、私たち事業者にあったのかもしれない。近年行われてきた葬儀の形は、葬儀社主導で葬儀社に都合が良いような形で進められてきました。参列者の数を出来る限り増やし、広い会場で豪華な祭壇を飾り、形式も儀式というよりセレモニー的な意味合いが濃くなっていました。それもこれも、背景にあるのは葬儀社が売上を伸ばしたい、利益を上げたいというまさに葬儀社の都合で、悲しみの中にある消費者はそれが一般的であるかのように誤解させられてきたのです。最近、家族や親しい方で送る形式ができるためにお話しているのです。昨年八月、熊本市東区京塚にファミリースペース東京塚をオープンしました。つどう、語らう、心がかようお葬式（灰塚バス停前）というコンセプトのもと、祭壇が主役だった従来型の斎場というイメージを払拭し、時間を気にせず自宅のようにくつろげる空間というのが当社の斎場の特徴です。式場も自宅のリビングというイメージで、ダイニングや和室を備え、祭壇のかわりに花で棺のまわりを飾り、大切な方との最期のお別れが心置きなくできる空間にしています。読者の皆様も生前に考えるきっかけとして一度ご見学なさってはいかがですか。また、当社が行うイベントは、当社のホームページの他、毎週無料配信中のメルマガでもご案内しています。メルマガには読んでためになる情報も満載ですから、是非読んでみてください。ご登録はホームページからお願いたします。

※次回10月22日（金）掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます（土日可）
通話料無料 **0077-78-1059** **検索**
T062-0923 熊本市東区京塚19-47 TEL:095-385-1059 FAX:095-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前

第26回「県民葬祭について」シリーズ① **消費者の声から**

今からちょうど6年前の今日、当社は産声をあげました。それは葬祭業界に対し「サービス」の身が不透明で「価格が不明瞭で高額」といった消費者の不満が高まっていたところでした。当時の葬祭業界といえは選択肢が少ないことを良いことに、業界全体が価格や品質に対する競争意識が薄く、自己の売上や利益ばかりを優先していました。当社はそんな業界に風穴を開けるべく、また消費者の選択肢拡大のため会社を設立しました。設立当初から取組んだのは、「お葬式を事前に考えるなど縁起でもない」という常識を覆すことでした。お葬式というものは、亡くなって2〜3日の間にはその方の通夜や葬儀を行うのが一般的ですが、時間的な制約があるうえ普段慣れないことからつい葬儀社任せ、葬儀社主導となっていました。中にはそれが当たり前と思う方もいた程です。お葬式での不満やクレームの多くはこのような契約形式の多くはこのような契約形式

第26回「県民葬祭について」シリーズ① **消費者の声から**

一定の要件を満たせばご加入いただくことが可能となります。当社では、今回の保険商品も生前予約の選択肢の一つとして捉え、生前にある程度考えることの重要性や、悔いのないお葬式をしていただくための一助となればと考えています。保険商品に関しては当社ホームページをご覧ください。かかお電話でもお問い合わせください。

■郵便での意見は 千862-0923 熊本市東区京塚19-47 「くまもと県民葬祭」熊日夕刊係

■ファックスでの意見は 096-2888-9948

■メールでの意見は info@0077-78-1059.com

※次回10月15日（金）掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます（土日可）
通話料無料 **0077-78-1059** **検索**
T062-0923 熊本市東区京塚19-47 TEL:095-385-1059 FAX:095-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

毎週金曜日、熊日夕刊に広告を掲載中です。
弊社ウェブサイト、毎週火曜日に配信のメルマガ（無料）でもご覧いただけます。

ホームページ

くまもと県民葬祭

検索

www.0077-78-1059.com

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前

第27回「県民葬祭について」シリーズ② **基本コンセプト**

式ができるためにお話しているのです。昨年八月、熊本市東区京塚にファミリースペース東京塚をオープンしました。つどう、語らう、心がかようお葬式というコンセプトのもと、祭壇が主役だった従来型の斎場というイメージを払拭し、時間を気にせず自宅のようにくつろげる空間というのが当社の斎場の特徴です。式場も自宅のリビングというイメージで、ダイニングや和室を備え、祭壇のかわりに花で棺のまわりを飾り、大切な方との最期のお別れが心置きなくできる空間にしています。読者の皆様も生前に考えるきっかけとして一度ご見学なさってはいかがですか。また、当社が行うイベントは、当社のホームページの他、毎週無料配信中のメルマガでもご案内しています。メルマガには読んでためになる情報も満載ですから、是非読んでみてください。ご登録はホームページからお願いたします。

※次回10月22日（金）掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます（土日可）
通話料無料 **0077-78-1059** **検索**
T062-0923 熊本市東区京塚19-47 TEL:095-385-1059 FAX:095-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

広告



ファミリースペース東京塚
灰塚バス停前

第28回「県民葬祭について」シリーズ③ **これから・・・**

先週、先々週と当社のお話をさせていただきました。少なからずご理解いただいたことと思います。今週は「これから」についてお話しします。当社が基本とするものは今までもこれからも「お葬式を事前に考える」ことの大切さを普及することに変わりありません。そのための手段となるお葬式の生前予約も引き続き推進して参ります。それに加え、今月から少額短期保険販売の代理店として金融庁に登録し「葬儀保険」の取り扱いもスタートいたしました。葬儀保険とは、総合保障型の生命保険と異なり、万が一の際の死亡保障に特化した保険商品で、葬儀費用やお布施、法要や香典返しといった葬儀に係る費用を賄うことを目的としています。特徴としては掛捨てタイプの保険で、月々の保険料が安いこと、加入年齢や保障年齢が幅広いこと、保険加入にあたって医師の診断や健康診断の受診等の義務がないこと、従来の生命保険で加入できなかった年齢の方でも

一定の要件を満たせばご加入いただくことが可能となります。当社では、今回の保険商品も生前予約の選択肢の一つとして捉え、生前にある程度考えることの重要性や、悔いのないお葬式をしていただくための一助となればと考えています。保険商品に関しては当社ホームページをご覧ください。かかお電話でもお問い合わせください。

■郵便での意見は 千862-0923 熊本市東区京塚19-47 「くまもと県民葬祭」熊日夕刊係

■ファックスでの意見は 096-2888-9948

■メールでの意見は info@0077-78-1059.com

※次回10月22日（金）掲載

くまもと県民葬祭
代表取締役 森 輝和

24時間365日いつでも受付できます（土日可）
通話料無料 **0077-78-1059** **検索**
T062-0923 熊本市東区京塚19-47 TEL:095-385-1059 FAX:095-289-9948 www.0077-78-1059.com

ファミリースペース東京塚
FAMILY SPACE TOKYO TSUKA

ホームページ

0077-78-1059

検索

www.0077-78-1059.com